



クリスマスがやってくる



パディントンのクリスマス

マイケル・ボンド 作 松岡 享子 訳 福音館書店 933-ボ

くまのパディントンは一生懸命お金をため、友だちやブラウンさたちに何かクリスマスのおくりものを作りたいと思っていました。ブラウンさんの奥さんと買物にでかけたパディントンは、店員に物干しのつなをほしいといいます。店員が箱から物干しのつなをひきだすと、パディントンはそのつなをにぎりしめたまま、売場の中を引っぱって行きました。(『パディントンとクリスマスの買物』)

ちいさなもみのき

マーガレット・ワイズ・ブラウン さく バーバラ・クーニー え

かみじょう ゆみこ やく 福音館書店 E-ク

もりのはずれに、ちいさなもみのきがいつぽんたっていました。ちいさなもみのきは、もりのおおきなもみのきをみて、さびしくおもい、だれかといっしょにいたいとおもいました。あるひのこと、ちいさなもみのきのところへおとこのひとがあるいてきます。おとこのひとは、もみのきのまわりにおおきなあなをほり、そと、ながくのびたねをもって、あさぶくろにいれてくるみました。

ウォートンのとんだクリスマス・イブ

ラッセル・E・エリクソン 作 佐藤 涼子 訳

評論社 933-エ

クリスマス・イブの夜まで早く時間がたつように、ヒキガエルのウォートンはスケートに出かけて行きました。しかし、ウォートンは、家へ帰るとちゅうで道にまよってしまいます。家にもどる道をさがしていると、モグラのモンローに出くわしました。大ふぶきの中、二ひきが安全な場所をさがしていると、ふきだまった雪にかくれた洞穴を見つけました。

クリスマスにくつしたをさげるわけ

間所 ひさこ 作 ふりや かよこ 絵 教育画劇 E-フ

むかし、ニコラスというおとこのこがいました。ニコラスはかみさまのおしえをしんじて、こころのやさしいこどもにそだち、おとなになってからもそれをわすれませんでした。まちできのどくなおやこのはなしをきいたニコラスは、あるばん、おやこのいえにこっそりといきました。そして、きんかのはいったふくろを、あいていたまどからへやのなかになげこみます。

グロースターの仕たて屋

ビアトリクス・ポター さく・え いしい ももこ やく

福音館書店 E-ポ

仕たて屋はクリスマスの朝までに、グロースター市長のふくを仕たてなければなりませんでした。しかしあな糸がたりず、仕たて屋はいっしょにすんでいるねこのシンプキンに、かってくるようにいいます。つかれはてた仕たて屋が炉のまえですわっていると、しょつきだなのほうからカタコトときみょうなもののおとがきこえてきました。

とびきりすてきなクリスマス

リー・キングマン 作 山内 玲子 訳 岩波書店 933-キ

エルッキはクリスマスのことをおもうとわくわくした気分になります。ところがだいどころでは、家族みんなが話もせずしんとしていました。兄のマッティがのっている船のゆくえがわからないというのです。マッティがかえってこなければいいクリスマスになりそうもないと考えていたエルッキでしたが、いいことをおもいつき、板と車輪をかかえて納屋へいそぎました。

カイサとおばあちゃん

リンドグレーン 作 石井 登志子 訳 岩波書店 949-リ

クリスマスの一週間前、おばあちゃんが台所でころび、足をいためてしまいました。カイサはおばあちゃんのかわりに大掃除をして、クリスマスの準備にかかります。それから、カイサはおばあちゃんが袋につめた紅白の棒あめをもって、大クリスマス市へ売りにいきました。みんな一番小さな売り子さんであるカイサから棒あめを買いたがり、空缶の中にはお金がどんどんたまっていきました。